

ユーザー管理

日付: 2023年12月1日XAMPPバージョン: 8.1.10 DOCKER: 4.21.1コントロールパネルバージョン: 3.3.0サーバータイプ: MariaDBサーバーバージョン:

Xampp: 10.4.25-MariaDB docker: 11.1.2-MariaDB

MySQL/MariaDBに接続する

サーバーに mysql がインストールされたら (この場合は Xampp または Docker 経由)、コマンド プロンプト (ターミナル) に移動して次のように入力します。

なお、Docker を使用する場合は、まず MySQL/MariaDB サーバー コンテナに接続する必要があります。

```
MySQL -V
# または
マリアデブ -V
```

コマンドが認識された場合、データベースマネージャーのバージョンが表示されます。認識されない場合は、マネージャーのフォルダ (Xamppの場合: `c:/xampp/mysql/bin`) に移動してコマンドを実行するか、同じフォルダをコンピュータ (またはコンテナ) の「環境変数」の「パス」に追加してください。

これが完了したら、次のコマンドを実行できます。

```
mysql -u ユーザー名 -p #または
mariadb -u ユーザー名 -p
```

デフォルトでは、ユーザー名は多くの場合root です。

「mysql」を使用し、「root」という名前のユーザー (「-u」) でログインし、パスワード (「-p」) を入力する必要があると書かれています。
(Xamppでは、rootユーザーのデフォルトのパスワードは「nothing」です)

入力内容は次のように置き換えられます。

```
MariaDB [(なし)]>
```

ユーザー管理

ここで最初の注文が入ります。

ユーザーを作成する

まず、より安全な新しいユーザーを作成します。

"Sock"によって識別されるユーザー"Nolwenn"@localhostを作成します。

慣例: SQL で使用されるキーワードは大文字で記述します。ルール: コードの各行は「;」で終了します。

ここでキーワードが見つかります:

- 「CREATE」は何かを作成することを示します。「USER」はユーザーを作成することを示します。
- 引用符で囲んで、ユーザー名、@、そしてユーザーの「ホスト」を入力します。ローカルで作業しているので、「localhost」で十分です。(そうでない場合は、IPアドレスまたはURLでも構いません。)
- 「IDENTIFIED BY」は、パスワードが指定され、その後に引用符で囲まれたパスワードが指定されることを示します。

権利管理

現在、ユーザーには権限がないため、ログインしても何もできません。その後、権限を付与します。

権利:

すべての権限を付与する*
*宛先: "Nolwenn"@localhost;

キーワードは次のとおりです。

- 「GRANT」は、権限が付与されることを示します。
- 「すべての特権」私たちはすべての権利を与えます。
- 「ON」は、どの要素に対してこれらの権限があるのかを指定します。
- 「*.*」 データベースを指定し、その後に「.」に続いて権限を持つテーブルを指定します。(「*」は「すべて」を意味します)
- 「TO」は、権限が付与されるユーザーの前に付きます。

ここで、すべてのデータベースとすべてのテーブルに対するすべての権限をユーザーに付与しました。

すべての権限が設定されたら、すべてを次のように送信すると良いでしょう。

権限をフラッシュします。

(なくても動作しますが、正しく行う方が良いでしょう)

ここでは、あらゆるものにアクセスできるようにしたいという非常に特殊なケースを想定していますが、企業の場合は、ユーザーに特定のデータベース、特定のテーブル、あるいは特定の権限のみへのアクセスを許可することになります。例えば、

GRANT CREATE、DROP、DELETE ON のもの。
*宛先: "Maurice"@localhost;

(「もの」データベース内のすべてのテーブルに対して作成、破棄、削除の権限を付与します)

同様に、以下の方法で権利を取り消すことができます。

```
物事に対するREVOKE、DROP、DELETE。 * FROM "Maurice"@"localhost";
```

(「thing」データベース内のすべてのテーブルに対するスローおよび削除の権限を削除します)

mysql のバージョンによっては、root で実行しないとアクセス権エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの権限は次のように確認できます。

```
"Maurice"@"localhost"の権限を表示します。
```

- キーワード「SHOW」は、何かを見たいことを示します。
- 次に、表示したいもの（ここでは「GRANTS」）を指定します。
- では「FOR」は誰のために？

ユーザーの削除と変更

ユーザーの削除は次の方法で可能です：

```
DROP USER "Maurice"@"localhost";
```

ユーザーを「削除」したい。

既存のパスワードを変更するには：

```
ALTER USER "Maurice"@"localhost" IDENTIFIED BY "thing";
```

- キーワード「ALTER」は、何かを変更することを意味します。

最後に、ユーザーを変更する場合は、MySQL を終了して再接続する必要があります。終了するには、次のコマンドを使用します。

```
やめる;
```